

## 第40回ITER 機構職員募集説明会でのQ&A

### 1. 日時・場所

平成22年6月10日(木)-11日(金)

高山市民文化会館(第8回核融合エネルギー連合講演会展示会場)

### 2. 来訪者:33名

### 3. 説明概要:

第8回核融合エネルギー連合講演会の展示エリアにおいて、来訪者に核融合、ITERなどに関する資料を配布するとともに、ITER機構職員募集および登録の案内を行った。(ITER協力調整グループ 安東SGL、核融合研究開発部門職員)

### 4. 主なQ&A

Q: JADAとは何ですか？

A: JADAは、JApan Domestic Agencyの略で、ITER計画における我が国の国内機関のことです。日本原子力研究開発機構(原子力機構)は、ITER計画における我が国の国内機関として指定され、我が国が分担する超伝導コイルなどの機器を調達するとともに、ITER計画における我が国からの人的貢献の窓口としての役割を果たします。このようなことから、原子力機構は、我が国におけるITER機構職員募集の窓口として、応募の事務手続きを支援しています。

Q: ITER機構職員募集は定期的に行われるのですか？

A: ITER機構職員の募集は、不定期に行われますが、およその目安として、1~2ヶ月に1回の割合で募集があります。募集の期間は1ヶ月から1ヶ月半程度です。ITER機構ホームページの人材募集ページに、募集するポストおよびその職務内容(Job Details)が掲載されます。また、このホームページ上でJob Alertに登録すると、募集の度に最新の情報をメールで受け取ることができます。さらに、原子力機構では、募集情報提供のための登録制を設けており、登録者の方には最新募集情報やITER Newslineの配信、面接の支援などを行っておりますので、是非ご活用ください。詳しくは、ITER機構ホームページの人材募集ページおよび原子力機構那珂ITERホームページを参照下さい。

<http://www.iter.org/Pages/Jobs.aspx>

[http://naka-www.jaea.go.jp/ITER/recruit/boshu\\_midashi1\\_information\\_system.html](http://naka-www.jaea.go.jp/ITER/recruit/boshu_midashi1_information_system.html)

Q: ITER機構職員の面接試験はどのように行われるのでしょうか？

A: ITER 機構職員に応募した人は、まず ITER 機構による書類審査を受け、これに合

格すると、次に面接試験を受けます。書類審査の期間は 1 ヶ月程度です。応募者本人に、面接試験の予定日時が記載されたメールが届きます。面接試験は、すべてテレビ会議で行われます。テレビ会議で面接を行うのは、世界中のどこからでも平等な条件で面接を受けられるようにするためです。たとえカダラッシュの ITER 機構内であっても公平を期すため、テレビ会議で行います。上述の登録制に加入していただきますと、模擬面接ビデオを閲覧することもできます。面接の詳細については、ITER 那珂ホームページに説明を掲載しておりますので、下記の URL をご覧ください。

[http://naka-www.jaea.go.jp/ITER/recruit/koubo\\_2.html](http://naka-www.jaea.go.jp/ITER/recruit/koubo_2.html)

Q: ITER機構にはポスドク・フェローシップはないのでしょうか？

A: ITER機構には、モナコ公国/ITERポスドク・フェローシップという制度があります。ITER計画の参加極およびモナコ公国の国籍を有し、博士号取得後約3年未満あるいは近く取得予定の若手研究者を募集します。プラズマ物理やプラズマ計測、核融合工学の幅広い分野を対象としています。採用されるのは5人となっています。採用されるとITER機構の専門職員となります。任期は2年です。ポスドク・フェローシップの募集案内もITER機構ホームページに掲載されます。また、上述の登録者の方にはポスドク募集情報も提供しておりますので、是非ご活用ください。

以上



第 8 回核融合エネルギー連合講演会での展示エリアの様子